

コロナ予防周知協力訴え

磐田市立総合病院 浜松ブラジル総領事館に

新型コロナウイルス対策に関する意見交換を行う鈴木病院長ら。浜松市中区の在浜松ブラジル総領事館



磐田市立総合病院の鈴木昌八病院長(65)と県西部保健所の木村雅芳所長(59)らはこのほど、浜松市中区の在浜松ブラジル総領事館を訪問し、新型コロナウイルスに関する意見交換を行った。ガルシア・アウデーモ総領事らにブラジル人に向けた感染予防周知の協力を呼び掛けた。

問題や、家族間の感染予防の重要性を伝えた上で、情報提供を協力して行うことを確認した。ガルシア総領事は「会員制交流サイト(SNS)を使った情報提供をしていく」と話した。

鈴木病院長らは、患者の急増による病院の病床逼迫(ひっぱく)